

国内視察研修を行いました

農業委員会は、先進的事例や他市町村の取り組み等を視察し、農業が抱える諸問題について検討する機会とするため、7月23日・24日の両日、郡上市及びあわら市において視察研修を行いました。

視察研修に参加して



梓川地区
農業委員
古沢 明子

7月23日・24日の両日、松本市農業委員会の国内視察研修が行われました。委員34名、事務局2名の36名が参加しました。



明宝レディースの説明を受ける

㈱明宝レディースと

明宝特産物加工㈱

針葉樹が立ち並ぶ深い谷間に郡上市明宝地区はありました。米の減反に悩む地区で、活性化の為に栽培を始めたトマトが供給過剰になり、これを活用しようと、株式会社明宝レディースは、平成4年に農村女性たち仲

良しグループが母体となり、第3セクターによって設立されました。女性たちの試行錯誤の末に生まれたのが、絶品のトマトケチャップです。社員は役員を含めて現在11名ですが、今後は後継者の育成にも力を入れていく方針とのことでした。

また、明宝特産物加工株式会社「明宝ハム」は、村おこしの大事な特産品と

して大きく成長しています。昭和28年に農山村の食生活の改善と畜産振興を目的に、農協の加工所でハム作りが始まり、その後、第3セクター「明宝特産物加工㈱」を設立し運営しています。販売数が伸びた背景には、マスコミの宣伝力は基より、関係者の努力と村民の力強い支えがあったからだと言えます。製法も、手作業によるきめ細かいもので、手間と時間を掛けても守り抜いた技が成した製品だと思えました。



郡上八幡は水の町、匠の地としても有名な町です。芸術作品も多く、見る者の心を和ませてくれました。



懐かしいパッケージ (明宝ハム)

福井県

丘陵地農業支援センター

2日目は福井県にある丘陵地農業支援センターです。あわら市と坂井市にまたがる坂井北部丘陵地は、千ヘクタールの畑地が広がっている丘陵地です。従事者の高齢化・担い手不足が進み、休耕・不耕作の農地が3割ほど存在するような状態が続く、作物の産出額も大幅に下落していきました。打開するため、「丘陵地農業支援センター」を設立して、坪田清孝事務局長の下、



福井県丘陵地農業支援センター

土地利用型農業で産地の再生を図り、常に農業委員会と情報を共有して、農地流動化と遊休農地の解消を効果的に進めているのです。魅力ある儲かる農業への方向付けは、「今、何が出来るか、何をすべきかを考えて、課題の解決に向けて取り組みを続けることが大切だ」と坪田事務局長。今後の成果に期待が持たれます。地域と農業を守って行く為に、農業委員として、誇りを持って農業に取り組めるような農業者への手助けが必要だと思えます。また、「農業から足を洗わせない」明るい方向付けも大切だと思えました。